

3/13 セミナー

原発事故から13年の日本と 脱原発を実現したドイツの経験

2024年3月13日（水） 14:00-15:30
衆議院第二議員会館 多目的会議室
zoomによるオンライン配信あり

2023年4月15日、ドイツは最後に残っていた3基の原子炉を停止し、「脱原発」を実現しました。また2023年、ドイツの発電における再エネ割合は50%を超え、2030年80%、2035年100%の目標を見据えています。

このたび、ドイツ最大の環境団体の一つであるドイツ環境自然保護連盟（BUND／FoEドイツ）から元代表らによるセミナーを開催します。

ドイツの脱原発やエネルギーシフトについて学びます。

プログラム（同時通訳あり）

原発ゼロ・再エネ100の会より挨拶

...阿部知子さん（衆議院議員）、近藤昭一さん（衆議院議員）ほか
ドイツの環境運動・脱原発運動の歴史とBUND（FoEドイツ）

...福澤啓臣さん（元ベルリン自由大学教授）
...フーベルト・ヴァイガーさん（元BUND代表）

ドイツの脱原発と再エネ、エネルギーシフト

...リヒャルト・メルクナーさん（BUNDバイエルン州本部代表）
...マルティン・ガイルフーフエさん（BUNDバイエルン州本部政策部長）

司会：吉田明子（国際環境NGO FoE Japan）

FoEドイツ／BUNDの概要

FoEドイツ／Frinds of the Earth Germany／BUND（ドイツ環境自然保護連盟）

ドイツ最大の環境団体の一つ。ドイツ国内の自然保護団体の連合として1975年に設立。
各州の州本部、各町のローカルグループがある。

会員・支援者は60万人以上。自然保護や気候変動、エネルギー、
交通、食と農業など様々なテーマに取り組む。



参加費：無料

申込： FoE Japanのウェブページよりお申込みください。
<https://foejapan.org/issue/20240213/16160/>

主催： 国際環境NGO FoE Japan

共催： 原発ゼロ・再エネ100の会、フリードリヒ・エーベルト財団

FRIEDRICH
EBERT
STIFTUNG